

森が会長就任

声、国に発信

長代理を務める増加を理由に地方交付税を削減すべきだとの意見が

召し上げるようなやり方は通らない」と反発。基金積み立ては将来への備えで残高などは自治体によって異なる」と説明し、全自治体を対象に基金の実態調査を進めている総務省と協議しながら対応していく意向を示した。

は7日、同市開成町の南陽事業所で、約50年ぶりに建て替える本館や設備管理棟などの安全祈願祭を開いた。

新しい本館は鉄筋コンクリート造り4階建てで延べ床面積約5千平方メートル。震度6の地震や津波にも耐えら

る。南陽事業所のコントリール機能を集約し、海外客向けの商品PRルームや展示室を備える。

設備管理棟は鉄骨造り2階建てで延べ床面積約2千平方メートル。プラント維持のための工務部門を管理する。今月中に着工し完成は来年

97万4千円、瀬戸内海から、日本海のマフクノ量、金額と

知事表敬、交流へ意欲

ロシア・クラスノダール地方 日口団体所長ら

の市長任期まで。現時より改めて

云後の会見の基金残高

県と友好協定を締結したロシア南西部・クラスノダール地方を拠点に活動する日口交流団体「カイゼン」のアンドレーエワ・オーリガ所長ら3人が7日、県庁を訪れ、村岡副知事に経済や学術面での交流発展に向けた意欲を伝えた。

村岡知事は、来年度で相互に「日本年」「ロシア年」が開催されることを踏まえ、「来年は重要な年。農産加工技術や学術面、学生の交流など、さまざまな分野で交流を発展させた」と心じた。

カイゼンは2010年に設立され、セミナーなどを通じて自動車メーカートヨタの生産方式を普及。日本語教室を開くなど教育文化活動にも取り組んでいる。

一行は5日から7日まで県内に滞在。7日は県立萩

美術館・浦上記念館や県国際交流協会、宇部市の食品機械メーカー、ヤナギヤを訪問した。

県は4月に同地方と経済や文化・スポーツ分野などで交流を進める友好協定を結んだ。



交流の発展へ意欲を語る日口交流団体「カイゼン」のアンドレーエワ・オーリガ所長（右）＝7日、県庁

人が出席。田代克志事業所長はあいさつで「東ソーの主力工場の顔が大きく変わる。東ソーを世界中の人に覚えてもらうことに喜びを感じ

として知事表彰した。受賞者は次の皆さん。峯石宏子（上関町）藤本寿美子（岩国市）鈴木和恵（下関市）岩田キミ（周南市）

97万4千円、瀬戸内海から、日本海のマフクノ量、金額と

健康経営で企業も従業員も元気に

山口法人会と大同生命がセミナー

山口法人会と大同生命は7日、企業が従業員の健康管理に積極的に取り組む「健康経営」に理解を深めるセミナーを山口市湯田温泉のホテルかめ福で開いた。

NPO法人健康経営研究会認定講師で社会保険労務士の吉田明文さんが「従業員が元気で働く職場づくりを目指して」と題して講演。山口法人会の会員ら約50人が参加し、健康経営の基本的な考え方、必要性、取り組みを進めるポイントなどを学んだ。

吉田さんは健康経営について「経営者が従業員の健康を大切にし、従業員も元気に働くことができる会社



を創造すること」と紹介。健康管理を経営的視点から考え戦略的に実践することにより、医療費の節減にとどまらず、企業の生産性や従業員の創造性、イメージの向上などの効果が得られると説明した。

健康経営が必要とされる

業の発展にの活力を生み掛けた。

の松浦

「食品や食品機械などいろいろな業者に参加してほしい

定例記者会

地方整備局長

世界文化遺産

知事

知事

知事